RKK熊本放送開局70周年記念

クラウス・マケラ指揮
オスロ・フィルハーモニー管弦楽団
辻井伸行（ピアノ）

2023年

10/26（木）19:00開演（18:00開場）

熊本県立劇場 コンサートホール

ショスタコーヴィチ：祝典序曲

ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第2番

［ピアノ：辻井伸行］

R.シュトラウス：交響詩《英雄の生涯》

※出演者・曲目・曲順等は変更になる場合がございます。

20代でオスロ・フィル、パリ管、
コンセルトヘボウ管のシェフに指名された
天才指揮者クラウス・マケラ
手兵オスロ・フィルと待望の来日

Klaus Makela, Oslo Philharmonic: ©Marco Borggreve / Nobuyuki Tsujii: ©Yuji Hori

チケット料金（全席指定・税込） SS 28,000円 S 24,000円 A 21,000円 B 18,000円 C 15,000円 D 10,000円 U25 5,000円

※主就学児のご入場はお断りいたします。

チケット発売日

2023年5月20日（土）朝10時より

お問い合わせ

サンライズプロモーション東京

0570-00-3337（平日12:00～15:00）

※ご来場前にはサンライズプロモーション東京のHP（https://sunrisetokyo.com/）より最新情報のご確認をお願い致します。

プレイガイド

- 熊本県立劇場　096-363-2233
- チケットぴあ（Pコード：241-742）セブンイレブン
- e+（イープラス）Family Mart店舗
- ローソンチケット（Lコード：81482）ローソン・ミニストップ店内Loppi

オンラインチケット

公演ページ

※U25席のチケットは一般発売から、ぴあWEBのみで販売。当日、年齢の確認ができる身分証明書を提示の上、座席指定席券と引き換え。お席はお選びいただけません。
※車椅子席をご希望のお客様は熊本県立劇場までお問い合わせください。

主催：RKK熊本放送/熊本県立劇場/BASE CAMP/サンライズプロモーション東京

辻井伸行オフィシャル・エアライン：ANA　後援：ノルウェー大使館、フィンランド大使館　協力：ユニバーサル ミュージック合同会社　企画・制作：エイベックス・クラシックス・インターナショナル　制作協力：インタースペース

avex classics international

世界を駆け巡るマケラ・ショック

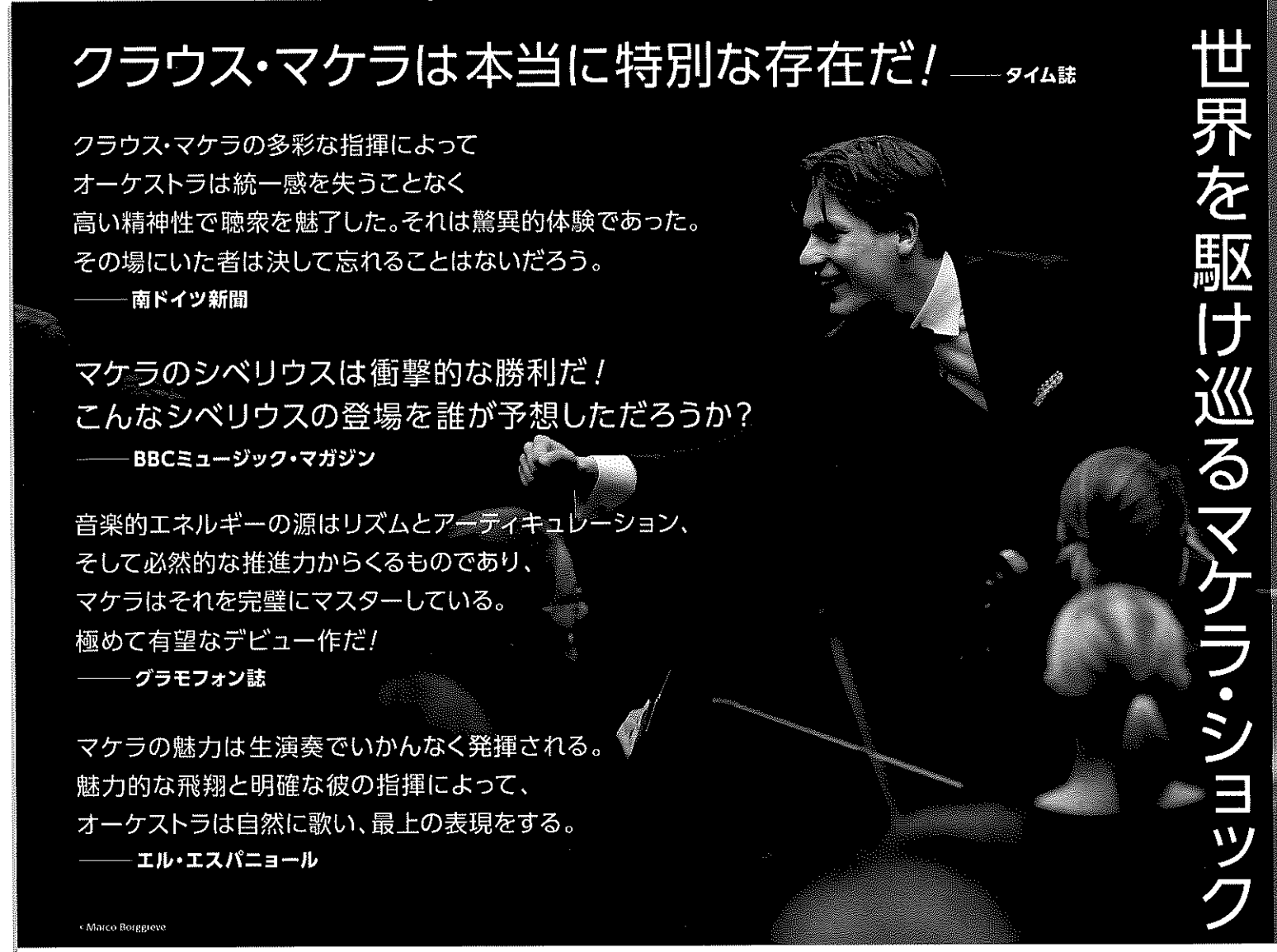
クラウス・マケラは本当に特別な存在だ！ ——タイム誌

クラウス・マケラの多彩な指揮によって
オーケストラは統一感を失うことなく
高い精神性で聴衆を魅了した。それは驚異的体験であった。
その場にいた者は決して忘れることはないだろう。
——南ドイツ新聞

マケラのシベリウスは衝撃的な勝利だ！
こんなシベリウスの登場を誰が予想しただろうか？
——BBCミュージック・マガジン

音楽的エネルギーの源はリズムとアーティキュレーション、
そして必然的な推進力からくるものであり、
マケラはそれを完璧にマスターしている。
極めて有望なデビュー作だ！
——グラモフォン誌

マケラの魅力は生演奏でいかんなく発揮される。
魅力的な飛翔と明確な彼の指揮によって、
オーケストラは自然に歌い、最上の表現をする。
——エル・エスパニョール



©Marco Borggreve

©Marco Borggreve

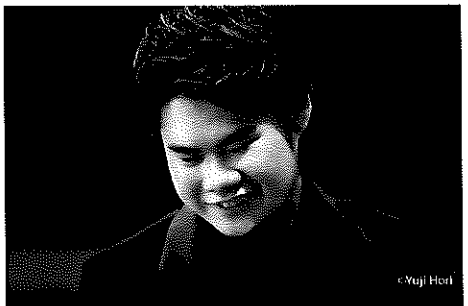
クラウス・マケラ（指揮）
KLAUS MÄKELÄ, CONDUCTOR

1996年フィンランド生まれ。12歳からシベリウス・アカデミーにてチェロと指揮を学ぶ。若くしてスウェーデン放送交響楽団の首席客演指揮者に就任したほか、これまでにフィンランド放送響、ヘルシンキ・フィル、ロンドン・フィル、ミュンヘン・フィル、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、クリーヴランド管など、欧米の一流オーケストラとの共演で高い評価を獲得し「数十年に一度の天才指揮者の登場」とも評される大成功を収める。2020/21年のシーズンから、24歳でオスロ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任し、翌年のシーズンからはオスロ・フィルに加えて、パリ管弦楽団の音楽監督にも就任。歴史あるオーケストラにおける20代の音楽監督の誕生は鮮烈なニュースとして世界を駆け巡った。また、2022年6月、オランダのロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団が2027年のシーズンから首席指揮者にクラウス・マケラを指名したことを発表。名門オーケストラが立て続けに20代の若手指揮者を自らのシェフに指名したことで、さながら"マケラ・ショック"とも呼べるほどの衝撃を世界のクラシック界に巻き起こしている。

©Marco Borggreve

オスロ・フィルハーモニー管弦楽団
OSLO PHILHARMONIC

ノルウェーの首都オスロを拠点に世界的な活躍を繰り広げる北欧の名門オーケストラのひとつ。エドヴァルド・グリーグらが設立したクリスチャニア音楽協会の流れを汲み、1919年に創設。歴代の音楽監督にはヘルベルト・ブロムシュテット、マリス・ヤンソンス、アンドレ・プレヴィン、ユッカ＝ペッカ・サラステなどの一流指揮者が名を連ねており、なかでも1979年から2002年までの23年間にわたり首席指揮者を務めたマリス・ヤンソンスとはEMIレーベルに数多くのレコーディングを行い、そのクオリティの高さと充実ぶりを世界中の音楽ファンに知らしめたほか、1988年の初来日以来3度の日本ツアーを成功させている。2013/14年のシーズンからはヴァシリー・ペトレンコが首席指揮者を務め、2020/21年のシーズンからは若手フィンランド人指揮者クラウス・マケラが就任。2022年にはマケラのCDデビュー作となるシベリウスの交響曲全集をデッカ・レーベルからリリースし世界中で極めて高い評価を得ている。今回のマケラとの日本ツアーは2014年にヴァシリー・ペトレンコと来日して以来、9年ぶりの来日公演となる。



©Yuji Hori

辻井伸行（ピアノ）
NOBUYUKI TSUJII, PIANO

2009年「第13回 ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール」で日本人として初優勝して以来、国際的に活躍している。2011年、ニューヨーク、カーネギーホール主催のリサイタルで驚異的な大成功を収め、以後定期的に同ホールの主催公演に招聘されているほか、ロンドン、ウィーン、パリ、ミラノなど、世界の主要都市でのリサイタルやオーケストラとの共演はいずれも高い評価を受け、欧米の主要コンサートホールや主催者からの出演依頼が数多く寄せられている。また、著名な指揮者や世界的オーケストラからも高く評価されており、ユロフスキ指揮ロンドン・フィル、ケント・ナガノ指揮 ハンブルク・フィルなど、著名オーケストラの日本ツアーのソリストに数多く抜擢されているほか、欧米の一流オーケストラの定期公演にもたびたび招聘されている。2023年以降もニューヨーク、カーネギーホールの主催公演、ロンドン公演、パリのシャンゼリゼ劇場における公演をはじめ、世界の主要都市でのリサイタルや世界的オーケストラとの共演が数多く予定されており、日本を代表するピアニストとしてさらなる飛躍が期待されている。